

事前評価個表

事業名	防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	うしがた 牛瀉 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、つがる市北部の日本海沿岸に位置し、平成22年4月の波浪と強風により既設の緩傾斜堤が破損及び沈下する被害を受けた。このまま放置すれば、今後の波浪による被害の拡大により、後背地に位置する防風保安林が被災し、県道及び農地等の保全対象に多大な被害を及ぼす恐れがある。このため、施設災害復旧事業により緩傾斜堤を復旧することとしており、本事業においては、潮波による緩傾斜堤の浸食を防止することを目的としてコンクリートブロック根固工を実施し、施設災害復旧事業と一体的に整備することにより、後背地の防風保安林機能の維持増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 防潮工 210m</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	120,175	千円
	総 費 用（C）	48,077	千円
	分析結果（B／C）	2.50	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 被害の状況から、放置すれば被害が拡大して後背斜面の崩壊が拡大し、保全対象に被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、施設災害復旧事業で実施する施設の安定が図られ、防風保安林機能の維持、増進により、後背地の保全が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の地形・地理状況から見て技術的に妥当な工種・工法で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ふゆべさわ 冬部沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、中泊町北部の小泊地区に位置し、水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は過密化等により水土保持機能が著しく低下している状況にあり、今後の豪雨により山腹崩壊や流木等が発生する恐れがあることから、本数調整伐の実施により適正な林分密度とし、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 8.5ha</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	9,571	千円
	総 費 用（C）	2,404	千円
	分析結果（B / C）	3.98	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林分の状況から、放置すれば保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊や流木が流出し、下流へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水源かん養機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かまのさわ 釜ノ沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 青森森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は外ヶ浜町北部に位置し、山腹斜面の露岩が、風化等により剥離し、その崩石土が治山施設に堆積している状況である。</p> <p>このことから、風化が進行することにより拡大崩壊し、直下の保全対象に土砂被害が懸念されることから、崩壊地の拡大及び土砂流出を防止し、下方の人家、国道の保全及び土砂崩壊防備機能の向上を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.05 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	78,466	千円
	総費用（C）	4,808	千円
	分析結果（B / C）	16.32	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し、保全対象に土砂被害が懸念されることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、土砂崩壊防備機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	うてつやま 宇鉄山 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 青森森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は外ヶ浜町最北端に位置し、平成22年9月1日の豪雨により山腹面に崩壊が生じ、既設治山施設に被害を及ぼした。 この状況から、放置することにより、下流域の保全対象に土砂被害が懸念されることから、崩壊地の拡大及び土砂流出を防止し、国道、町道、人家の保全を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.05 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	90,464	千円
	総費用（C）	12,500	千円
	分析結果（B / C）	7.24	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し、保全対象に土砂被害が懸念されることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、土砂災害のを未然防止し、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおひらさわ 大平沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は大間町の奥戸川上流に位置し、平成22年の豪雨により溪流上部の山腹が崩壊し、崩壊土砂が溪床及び溪岸が浸食され不安定土砂が堆積している状況である。</p> <p>このため、崩壊地の山脚を固定し不安定土砂の流出を防止するとともに溪床及び溪岸の浸食防止の防止を図り、下流域等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	33,533	千円
	総費用（C）	22,115	千円
	分析結果（B / C）	1.52	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 沢上部崩壊地の状況及び崩壊土砂の堆積状況から、放置すれば崩壊地の拡大及び不安定土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、山脚の固定及び堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保持機能の向上とともに、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の地形・地質・地理状況から見て技術的に妥当な工種・工法で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	うしたき 牛滝 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は佐井村中南部に位置し、土質は礫質でルーズな状態で堆積しているため度々豪雨等により下流の畑地、村道等に土砂が流出し被害を与えている。</p> <p>このため、溪床、溪岸の浸食及び山腹の崩壊を防止し崩壊地の早期緑化により当該地の安定を図り、下方保全対象の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.10 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	14,329	千円
	総費用（C）	1,923	千円
	分析結果（B / C）	7.45	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 荒廃の状況から、放置すれば豪雨の度に不安定土砂が流出し、保全対象に被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、堆積する不安定土砂の流出防止、安定が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の地形・地質・地理状況から見て技術的に妥当な工種・工法で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かまのさわ 釜ノ沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、むつ市南部の陸奥湾に注ぐ近川流域に位置し、水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は過密化等により水土保持機能が著しく低下している状況にあり、今後の豪雨により山腹崩壊や流木等が発生する恐れがあることから、本数調整伐の実施により適正な林分密度とし、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 25.1 h a</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	22,263	千円
	総 費 用（C）	6,731	千円
	分析結果（B / C）	3.31	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林分の状況から、放置すれば保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊や流木が流出し、下流へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水源かん養機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>みなみさわ</small> 南沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、むつ市西部の川内ダム上流の川内川上流流域に位置し、水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は過密化等により水土保持機能が著しく低下している状況にあり、今後の豪雨により山腹崩壊や流木等が発生する恐れがあることから、本数調整伐の実施により適正な林分密度とし、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 16.7 h a</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	15,383	千円
	総 費 用（C）	6,731	千円
	分析結果（B / C）	2.29	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林分の状況から、放置すれば保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊や流木が流出し、下流へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水源かん養機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	じゅうべえさわ 重兵衛沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、むつ市中央部の湯ノ川地区上流の湯の沢支流域に位置し、水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は過密化等により水土保持機能が著しく低下している状況にあり、今後の豪雨により山腹崩壊や流木等が発生する恐れがあることから、本数調整伐の実施により適正な林分密度とし、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 21.3 h a</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	29,170	千円
	総 費 用（C）	6,769	千円
	分析結果（B / C）	5.06	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林分の状況から、放置すれば保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊や流木が流出し、下流へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水源かん養機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	米代川 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 岩手北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、八幡平市北西部の相沢川流域に位置し、水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は過密化等により水土保持機能が著しく低下している状況にあり、今後の豪雨により山腹崩壊や流木等が発生する恐れがあることから、本数調整伐の実施により適正な林分密度とし、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 49.9 h a</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	46,377	千円
	総 費 用（C）	13,462	千円
	分析結果（B / C）	3.45	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林分の状況から、放置すれば保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊や流木が流出し、下流へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水源かん養機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	せきぐちがわ 関口川 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 三陸北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、山田町中央部の海岸地区支流域に位置し、水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は過密化等により水土保持機能が著しく低下している状況にあり、今後の豪雨により山腹崩壊や流木等が発生する恐れがあることから、本数調整伐の実施により適正な林分密度とし、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 65.6 h a</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	73,177	千円
	総 費 用（C）	17,788	千円
	分析結果（B / C）	4.11	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林分の状況から、放置すれば保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊や流木が流出し、下流へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水源かん養機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おくいわいずみ 奥岩泉 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 三陸北部森林管理署久慈支署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、岩泉町北西部の安家川上流流域に位置し、水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は過密化等により水土保持機能が著しく低下している状況にあり、今後の豪雨により山腹崩壊や流木等が発生する恐れがあることから、本数調整伐の実施により適正な林分密度とし、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 75.1h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	60,494	千円
	総費用（C）	14,423	千円
	分析結果（B／C）	4.19	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 林分の状況から、放置すれば保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊や流木が流出し、下流へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水源かん養機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度～平成25年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	すぎもりざわ 杉森沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署
事業の概要・目的	<p>当地区は北秋田市南部に位置し、近年の融雪・豪雨等によって溪岸浸食箇所が拡大傾向にあり溪床内には多量の不安定土砂が堆積している。 このため、下流直下の杉森沢林道・孫沢林道に悪影響を与えていることから、浸食箇所の拡大防止及び不安定土砂の移動を抑止し、下方流域の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	44,352	千円
	総費用（C）	32,566	千円
	分析結果（B／C）	1.36	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪岸の浸食状況や溪床内不安定土砂の堆積状況から、放置すれば溪岸浸食の拡大及び不安定土砂が流出する恐れあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、溪床内の安定が見込まれ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	^{てんどうざわ} 天童沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署
事業の概要・目的	<p>当地区は北秋田市北西部に位置し、溪床内には融雪・豪雨等により多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、下流直下の羽根山沢林道及び羽立集落に被害を与える恐れがあることから、不安定土砂の移動を防止し、下方流域の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	21,295	千円
	総費用（C）	19,231	千円
	分析結果（B／C）	1.11	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪岸の浸食状況や溪床内不安定土砂の堆積しており、放置すれば溪岸浸食の拡大及び不安定土砂が流出する恐れあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、溪床内の安定が見込まれ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	うしろやち 後谷地 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、能代市西部の米代川河口の日本海に面し、飛砂防備安林及び保健保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は能代市中心部への飛砂被害の軽減のほか、散策路が整備され「風の松原」の愛称として市民の憩いの場として親しまれているが、松くい虫被害により飛砂防備機能の低下や景観が悪化している状況にあることから、被害木の伐倒・駆除の実施による被害軽減により、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 8.0 h a</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	23,604	千円
	総 費 用（C）	4,808	千円
	分析結果（B / C）	4.91	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 林分の状況から、放置すれば被害が拡大し、保安林機能が著しく低下、飛砂等による後背地へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、松くい虫被害の軽減が図られ、飛砂防備機能、保健保安機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て適切な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度～24年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおゆさわ 大湯沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署
事業の概要・目的	<p>当地区は湯沢市の南東部に位置し、山腹崩壊による崩落土等が溪床内に堆積しており、既設谷止工も満砂状態である。 このため、崩壊土の移動抑止と浸食防止、下方の旅館・国道の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基 護岸工 1,200m</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	179,689	千円
	総費用（C）	45,414	千円
	分析結果（B/C）	3.96	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況及び崩壊土砂の堆積状況から、放置すれば崩壊地が拡大及び不安定土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪床荒廃の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	こしき 甌 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 由利森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は由利本荘市南東部に位置し、豪雨等により山腹崩壊が生じ、流下方向が既設谷止工の左岸袖部に集中したことにより既設谷止工の袖部が崩壊したものである。その後の豪雨・融雪等により崩壊地は拡大傾向にあり、荒廃地は裸地状態にある。</p> <p>このため、崩壊地の早期緑化により既設谷止工の安定の維持及び土砂流出の防止を図り、下方の甌林道の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.10 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	19,788	千円
	総費用（C）	11,538	千円
	分析結果（B/C）	1.71	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大して土砂が流出し、保全対象に被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、堆積する不安定土砂の流出防止、安定が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の地形・地質・地理状況から見て技術的に適切な工種・工法で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	はつこうさわ 八溝沢 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 庄内森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は月山南西麓部に位置し、融雪等により溪岸崩壊が発生し不安定土砂が溪床に堆積している。保全区域内には湯殿山神社への参拝道路や宿泊施設がある。さらに下流に位置する国道112号線は庄内地域と内陸を結ぶ大動脈であり、両地域の物流・生活の要となっている。</p> <p>このまま放置すればこれら下流域の保全対象に多大な被害を及ぼす恐れがあるため、崩壊地の拡大及び土砂流出の防止を図り、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	105,808	千円
	総費用（C）	48,077	千円
	分析結果（B/C）	2.20	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況や溪岸浸食の状況から、放置すれば土砂が流出し、保全対象に被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、溪床内に堆積する不安定土砂の流出防止、安定が図られ、水土保持機能の向上とともに、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の地形・地質・地理状況から見て技術的に妥当な工種・工法で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>ひがしおおとり</small> 東大鳥 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 庄内森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、鶴岡市南部に位置し、斜面直下に市道泡滝大鳥線が位置する。平成22年9月の集中豪雨により山腹崩壊が発生し、崩壊土砂が市道に流出し、通行不可能となる被害を及ぼした。</p> <p>このため、山腹崩壊および崩壊地拡大の防止等斜面の安定を図ることを目的として山腹工を施行し、直下に位置する市道の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.06 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	23,995	千円
	総費用（C）	21,154	千円
	分析結果（B / C）	1.13	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば不安定土塊が崩落し、崩壊地が拡大し、保全対象に被害を及ぼす恐れがあるため、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、崩壊地の復旧が図られ、土砂崩壊機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の地形・地質・地理状況から見て技術的に妥当な工種・工法で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	さかた しょうないかいがん 酒田・庄内海岸 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 庄内森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、山形県西部位置する酒田市、鶴岡市、遊佐町の日本海に面した海岸防災林であり、日本海から吹き付ける強風から庄内地方を守る防壁となっている。</p> <p>本計画箇所の森林は松くい虫被害等による荒廃地が発生し、保安林機能が低下している。</p> <p>このため、被害木の伐倒・駆除の実施による被害軽減により、保安林機能の維持増進を図り、海岸防災林背後の人家、国道等を保全することを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 100.0 h a</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	23,604	千円
	総 費 用（C）	2,885	千円
	分析結果（B / C）	8.18	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林分の状況から、放置すれば被害が拡大し、保安林機能が著しく低下、飛砂等による後背地へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、松くい虫被害の軽減が図られるとともに海岸防災林の維持増進が図られ、人家、国道等保全が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	やまがた 山形 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、上山市東部の蔵王・酢川流域に位置し、水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は過密化等により水土保持機能が著しく低下している状況にあり、今後の豪雨により山腹崩壊や流木等が発生する恐れがあることから、本数調整伐の実施により適正な林分密度とし、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 43.0 h a</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	40,106	千円
	総 費 用（C）	9,615	千円
	分析結果（B / C）	4.17	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林分の状況から、放置すれば保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊や流木が流出し、下流へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水源かん養機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
（都道府県名）	<small>なべくらさわ</small> 鍋倉沢 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署最上支署
事業の概要・目的	<p>当地区は最上町東部に位置し、流域にはなだれを起因とする崩壊山腹及び加速的浸食荒廃を要因とする不安定土砂が平成16年7月の豪雨により流域中部に大量に堆積している。</p> <p>流域中部には谷止工が設置され不安定土砂の流出を防止しているが、基礎部が洗堀され安定性が保たれないことから、副ダムを設置し洗堀防止を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	41,285	千円
	総費用（C）	19,231	千円
	分析結果（B／C）	2.15	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 放置すれば既設谷止工の倒壊を招き、下流に大量の土砂が流失する恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪流の安定が図られ、水土保持機能の維持とともに、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23平成～26年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	しもこまたやま 下小又山 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署最上支署
事業の概要・目的	<p>当地区は真室川町北部に位置し、平成22年9月の豪雨により山腹面・溪岸に多数の崩壊が生じ、下流及び直下の保全対象に大量の不安定土砂が流出し被害を与えた。溪床には大量の不安定土砂等が堆積しており今後の豪雨・融雪等により流出の恐れがあり、又、山腹荒廃地は裸地状態にある。このため、山腹崩壊地の早期緑化により崩壊地の拡大防止及びダム工施工により土砂等流出の防止を図り、下方の住宅・農耕地の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.05ha 溪間工 4基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	106,371	千円
	総費用（C）	59,376	千円
	分析結果（B/C）	1.79	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪流荒廃の状況から、放置すれば崩壊地の拡大および不安定土砂流出の懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧及び溪流の安定が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度～25年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	やらのさわ 谷地ノ沢 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署最上支署
事業の概要・目的	<p>当地区は真室川町北部に位置し、近年頻発する豪雨により溪床・溪岸荒廃が拡大しており、平成22年9月の集中豪雨の際には、不安定土砂や流木等より既設ダムが満砂状態となり、直下の人家住民が自主避難するなど大きな被害を与えた。溪床には大量の不安定土砂等が堆積しており今後の豪雨・融雪等により流出の恐れがある。</p> <p>このため、溪床・溪岸の拡大崩壊及び不安定土砂の抑止を図るため溪間工を配置して溪床を安定させ、下方の住宅・農耕地の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 4基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	96,084	千円
	総費用（C）	50,458	千円
	分析結果（B/C）	1.90	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪流の荒廃状況から、放置すれば溪岸等の崩壊が拡大及び不安定土砂の流出する懸念があり、直下の人家に甚大な被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪岸浸食等の復旧と溪床の安定が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山	事業実施計画期間	平成23年度～25年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おくらさわ 小倉沢 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 置賜森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、過去（平成16年7月）に時間雨量77mm、24時間雨量205mmの豪雨により溪岸崩壊と溪床に堆積していた多量の土砂が流出し、下流の町道横断フューム管を閉塞させ流路が氾濫し、林地に土砂が流出し被害を与えた。また、下流の農業用水路にも土砂が堆積する災害が発生している。同箇所において平成22年7月2日に時間雨量66mmの豪雨により同様の災害が発生した。</p> <p>このことから、溪床にある堆積土砂の流出を防止するため溪間工及び流路工を施工することで下流域の保全と保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基 流路工 80m</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	38,614	千円
	総 費 用（C）	37,736	千円
	分析結果（B／C）	1.02	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況や溪岸侵食の状況から、放置すれば土砂が流出し、保全対象に被害を与える恐れがあることから、当該事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、溪床の安定が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

事業名	保安林整備（国有林）	事業実施計画期間	平成23年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>よねざわ</small> 米沢 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 置賜森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、米沢市南東部のカニガ沢支流域に位置し、水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林に指定されている。</p> <p>本計画箇所の森林は過密化等により水土保持機能が著しく低下している状況にあり、今後の豪雨により山腹崩壊や流木等が発生する恐れがあることから、本数調整伐の実施により適正な林分密度とし、保安林機能の維持増進を図ることを目的として事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 184.0h a</p>		
費用対効果分析	総 便 益（B）	151,545	千円
	総 費 用（C）	37,500	千円
	分析結果（B／C）	4.04	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 林分の状況から、放置すれば保安林機能が著しく低下し、山腹崩壊や流木が流出し、下流へ被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、適切な林分密度となり下層植生の回復等が図られ、水源かん養機能の維持増進が図られることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 事業実施の計画に当たっては、現地の林分状況から見て妥当な事業区域、事業内容で計画されており、また、費用対効果分析結果も投資効率が確保されることから、効率性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		